



リポーター
加藤和美さん(笹井在住)

市民の皆さんにリポーターになっていただき、市内の施設や市の事業をご紹介します。



10月21日～30日は正しい犬の飼い方普及旬間。市内で「犬の糞放置防止キャンペーン」が行われました

犬はかけがえのない家族責任を持つて飼いましよう
公園の木々も色づき始めて、散歩をするのにいい季節ですね。私も愛犬と気持ちよく散歩をしています。その道すがら犬を連れて人とよく出会いますが、マナーを見て残念に思うことがあります。そこで今回は、犬の正しい飼い方を私自身ももう一度確認するために、生活環境課でお話を伺いました。

生活環境課では、犬を飼い始めたときの新規登録、所有者や住所が変わったときの変更の届出、死亡したときの抹消の届出など、市民の飼い犬を管理するための業務を受け付けています。登録をする番号入りの鑑札が発行され、迷子になった犬がその鑑札をつけていれば、飼い主や住所が分かれば、捜すときの手がかりにもなるので、また4～5月には、登録に基づいて狂犬病予防の集合注射を行っています。集合注射を受けなかった場合は、動物病院で接種し、市へ届け出ます。これら犬の登録と年1回の狂犬病予防注射は、飼い主に義務付けられた大切な決まりです。現在は約7千頭が登録されています。地域の環境を衛生的に保つためにも、犬を飼うときはきちんと登録してほしいと思いましたが、では、根強いペットブームが続く中、飼い主としてどんなことに気をつけなければならぬでしょうか。生活環境課へ寄せられる市民からの苦情で一番多いのが糞の始末のことで、家の前に置いて行ってしまう「畑に投げ入れられて困っている」「公園にたくさんあって景観が乱れる」といった内容で意外にも、住宅街に放置されることが多いそうです。糞は持ち帰って処理するのがマナーだと思えますし、きつと犬を飼っている多くの人は気をつけているはずですよ。でも、犬の糞で困っている人が少なくない知り、改めて気をつけなければならぬと思いまし



犬をしつけるためには愛情と根気が必要です

まだ小さなわが家の愛犬を人と共生できる成犬に育て、最後まで一緒に暮らすのは私たち家族の責任……そう実感しながら、小さな命の重さを考える、よい機会になりました。

た。ほかに、犬が放されて危ないとか、早朝や深夜の鳴き声がうるさいといった声が寄せられるそうです。犬を信頼して放したくなる気持ちはよく分かりますが、小さな子どもには怖い思いをさせるでしょうし、吠える声で眠れない人がいるかもしれません。市では、新規登録や集合注射の際にチラシや冊子を配布したり、糞の持ち帰りを呼びかける看板を無償で提供するなどの啓発を行っています。このような取り組みでマナーがさらに守られればいいと思いますし、犬と人がうまく暮らすために、飼い主の私たちが、周りへの配慮を忘れてはいけなさと感じました。

犬は、飼い始めてから10年以上、一緒に暮らす大切な家族です。わが子と同じように接し、しつけることも必要だと思います。飼ってはみたものの、しつけができず、手に負えなくなつて処分をしてしまうケースがまれにあるそうです。

オピニオン

10月号のオピニオンでご紹介した「次世代を担う子ども達との関わり」にご意見が寄せられました。このコーナーでは、市民皆さんのご意見を積極的に掲載します。ぜひ、狭山市のまちづくりに対する皆さんの提言をお寄せください。

子育て支援サイト「ちゃっぼねっと」に見る 青少年育成のきっかけ

私は市の公式ホームページをよく見ます。その中で目を引くのが乳幼児情報センターの「ちゃっぼねっと」。他市のホームページでは、子育て支援サイトが見つからない、見つけても欲しい情報を得られないということが少なくありません。市がどんな施策に傾注しているかは、トップページを見れば分かります。狭山市はトップページに「ちゃっぼねっと」の入口があり、子育て支援に力を入れていることが伝わりますし、サイトは見る側に立った魅力的な工



夫が凝らされ、施策にも温かみを感じます。

私は青少年育成の活動に関わって、12年めを迎えます。その中で私なりに辿り着いたのは「初めて子どもを育てる親の『出発点』の在り方が重要」という考えです。初めての子育てで得る新鮮な感動によって住むまちの空気や景色が記憶に残り、まち自体の印象も深まります。また、子育てを始めるとそれまで見えなかった「社会の必要性」を感じる機会も多くなるでしょう。その時期だからこそ、行政も含めた周囲の支えが、その後の「人を育てる」という過程で生きてくると思うのです。人と出会い「つながりたい」と誰もが思うその気持ちから、ネットワークは広がります。その気持ちを具現化するのが行政や地域の役割ではないでしょうか。

このサイトは、それらの情報を得る「きっかけづくり」の役割を果たしていると思います。昼間、子どもと接していない父親も、このサイトで子育ての情報を共有できるでしょう。今、市の施策はとも身近に知ることが出来ます。ぜひ、そういった情報を積極的に活用して、まず興味のあることから「まちづくり」に参画していきませんか。

(小山眞保子さん / 入間川在住 / 50歳)



AET corner

Lee Chapman・西中学校勤務

With the temperature dropping, and December only just around the corner, I find myself thinking more and more about Christmas. On the surface, Christmas in Japan and England appear the same. Christmas songs are standard in department stores, and decorations are everywhere.

As you are reading this, no doubt this aspect of Christmas is already in full swing. It seems to start earlier every year. Decorations will be up just after summer soon.!

In England though, Christmas is very much a time for family. More than any other time of the year, families get together and enjoy Christmas dinner. A bit different from a Japanese Christmas I think you'll agree. But not Japanese New year. Whilst the reason for celebration might not be the same, the end result is. All the family gathers, and special food is eaten. And just like in England, perhaps even a little too much alcohol is drunk too.!

寒くなってきて、12月が近づく、私はクリスマス気分が高まります。表面上、日本とイギリスのクリスマスは同じです。クリスマスの音楽がデパートに流れるようになり、クリスマスの飾りがいたるところで見られます。

皆さんがこれを読むころにはクリスマスの準備が間違いなく進んでいるでしょう。それは年ごとに少し早まってきているようです。夏休みが終わるとすぐに始まるみたい。!

イギリスでは、クリスマスは家族で過ごします。1年でどのときよりも、家族が集まってごちそうを楽しみます。日本のクリスマスと少し違うことは皆さんにも分かるかと思いますが、結局は(日本の新年と)同じようです。家族全員で特別な料理を食べます。そしておそらく、いつもよりちょっと多めにお酒を飲みますよね。!

リー・チャップマン(英文の要約)

●わかるよこびを!

少人数指導で実感しています

プリントを使って
授業の内容をそのつど確認



私たちの学校は、文部科学省から指定を受けた県内の小・中学校36校の1校として、「学力向上フロンティアスクール」に取り組んでいます。具体的には、2・3年生の選択授業を1クラス約15名の少人数指導で行っていて、そこでは、教師と一緒に教育活動支援ボランティアも授業を補助します。確かな学力を身につけるためのきめ細かな授業は、生徒、教師、ボランティアがじっくりと向かい合って学ぶため、生徒から「集中できて理解が深まる」「発言や質問がしやすくなった」「授業がよく分かって楽しい」と授業に対する前向きな声が届いています。

入間中学校